

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公開番号】特開2013-78349(P2013-78349A)
 【公開日】平成25年5月2日(2013.5.2)
 【年通号数】公開・登録公報2013-021
 【出願番号】特願2011-218422(P2011-218422)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月10日(2015.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づき当落判定を行い、該当落判定の結果に基づいて遊技者に所定の利益付与を行う主制御手段と、

前記主制御手段による当落判定の結果に基づいて図柄の変動表示および停止表示にかかる制御を行い、該図柄の変動表示および停止表示を通じて前記主制御手段による当落判定の結果を遊技者に示す演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

遊技者側から見て相対的に手前側に配置される第 1 表示体および遊技者側から見て相対的に奥側に配置される第 2 表示体を有し、これら第 1 表示体および第 2 表示体それぞれにおいて図柄の変動表示を行うことが可能に構成され、

前記第 1 表示体において前記主制御手段による当落判定の結果を示す当落図柄に関する変動表示を行うとともに、前記第 2 表示体において前記主制御手段による当落判定の結果に基づく演出に用いられる演出図柄に関する変動表示を行う図柄別変動実行手段を有することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、音の出力にかかる制御を行う音出力制御手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、発光にかかる制御を行う発光制御手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

ここで、第 1 種の遊技機において、単に第 2 種の遊技機の利点を取り入れる等した遊技機が知られているが、このような手法はいわばマンネリ化しており興趣の低下を招いてい

る実情にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

そこで、本願発明の課題は、興趣の低下を抑制することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

かかる課題を解決するために、本願発明にかかる請求項 1 は、所定条件の成立に基づき当落判定を行い、該当落判定の結果に基づいて遊技者に所定の利益付与を行う主制御手段と、前記主制御手段による当落判定の結果に基づいて図柄の変動表示および停止表示にかかる制御を行い、該図柄の変動表示および停止表示を通じて前記主制御手段による当落判定の結果を遊技者に示す演出制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、遊技者側から見て相対的に手前側に配置される第 1 表示体および遊技者側から見て相対的に奥側に配置される第 2 表示体を有し、これら第 1 表示体および第 2 表示体それぞれにおいて図柄の変動表示を行うことが可能に構成され、前記第 1 表示体において前記主制御手段による当落判定の結果を示す当落図柄に関する変動表示を行うとともに、前記第 2 表示体において前記主制御手段による当落判定の結果に基づく演出に用いられる演出図柄に関する変動表示を行う図柄別変動実行手段を有することを特徴とする。

また、請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、音の出力にかかる制御を行う音出力制御手段をさらに備えることを特徴とする。

また、請求項 3 に記載の発明は、発光にかかる制御を行う発光制御手段をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によれば、興趣の低下を抑制することが可能となる遊技機を提供することができる。